

♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2017年8・9月上旬 ♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718(営業時間10:00-18:00)

暑中お見舞い申し上げます。8月12日(土)~24日(木)までは館内補修工事のため、休館いたします。こんなに長い間お休みを頂くのは開館以来、初めてのこと！これにともない翌月分のお知らせの封書が会員の皆様のお手元に届くのも通常の月初より1週間程遅くなりそうです。ということで、今回は8月と、9月上旬に開催しますおすすめ公演をまとめてお知らせいたします♪

【文責:宗次ホール企画担当 廣田 政子(ひろた まさこ)】

ここで紹介するシリーズは全て¥2,000

13:30開演 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)A/B列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽をじっくり聴いてみたい、夜は出かけづらいので昼間に本格的な演奏を楽しみたい、という方にぴったり。国際的にも活躍するベテラン演奏家から気鋭の若手まで、2,000円ではお得すぎるほどの素晴らしい演奏家達です。ご期待下さい！



ピアノが大好きな皆様へ！
スイーツタイムコンサートでは
今回ピアノ公演が大充実です！



8月8日(火) 萬谷 衣里

♪やはりショパンが好き！という方へ。
ショパンが愛したスカルラッティと共に



「スカルラッティのスタイルはバッハよりむしろモーツァルトと近い。その音楽は踊りと喜びにあふれ、リズムは複雑ながらもクリスタルのように透明。速いテンポは聴く者を楽しませ、バッハとはまた違った理由で、スカルラッティの音楽を愛しています。聴衆の理解さえあれば、スカルラッティの作品だけで公開演奏会を催したい」とはショパン自身の言葉。19世紀のはじめ頃、バロックの作曲家であるスカルラッティは忘れられた存在でした。そんなスカルラッティに光を当てたのが、ピアノの教則本で有名なツェルニー。「スカルラッティの作品がコンサートで度々取り上げられて、聴衆が楽しむようになる時代が必ず来る。」というショパンの予言は的中したのです。萬谷さんもまた、「今はスカルラッティで演奏会を開きたいくらい大好き！」と仰る方。ドイツで長年活動するその音楽性は本物です



9月3日(日) 田中 正也

♪楽しいお話付の演奏会。
楽しみながら物知りになりたい方へ♪

宗次ホールで始まった田中さんの「魔法のピアノ」シリ



ーズは今回でもう8回目。このシリーズが人気を博し、今では全国各地で「魔法のピアノ」公演をやってください！とひっぱりだこ。僅か15歳でモスクワへ単身移住した田中さん、ロシア仕込みの本格的な演奏は勿論のこと、楽しいトークも大人気です。

今回のプログラムにはラフマニノフの「リラの花」という作品が含まれていますが、これは田中さんが今年リリースしたCDアルバムのタイトルにもなっている、「人々に幸せを運ぶ」とされている花だそう。「日本では、ロシアのピアノ作品という音も多すぎて大規模、超絶技巧が駆使された重い作品、というイメージが強いですが、こういう繊細な表現の作品がたくさんあることも知って頂きたい。リラの花のメッセージ通り聴いて頂く方に幸せな気持ちになってほしい」と田中さん。日曜日のお昼、素敵な音楽とお話を一緒に楽しみませんか♪



9月8日(金)セルゲイ・カスプロフ

♪みんながまだ知らない、知られざる芸術家を
先取りして聴きたい方へ



「鬼才」と呼ばれるピアニストは何人か居ますが、そんな中でもトップクラスの鬼才、ヴァレリー・アフアナシエフをご存じでしょうか。演奏家としてだけではなく詩人、執筆家としても活動するマルチな芸術家で、気難しいことでも有名な彼が珍しく大絶賛しているのが、この

セルゲイ・カスプロフ。自著「ピアニストのノート」で“現代の若手奏者でベスト”と激賞しています。

「今日、大半の若手ピアニストが極限までにミスのない、完璧で“正しい”(つまり無難で面白くない。)演奏を目指している中、この背が高いパワフルなピアニストは違う。圧倒的なまでのテクニックだけではなく、丸裸の感情を露呈する。恐れることなく、自らの心を雄弁に語る。その演奏を聴いた者に、強い印象を残す」(ザ・モスクワ・タイムズ紙)と評されるカスプロフさん。2015年に初来日し、その強烈な個性でピアノ通の聴き手を唸らせました。「日本の聴衆は技巧的に完璧な演奏を好む、と聞いていて、私の演奏では満足して頂けないのではないかと不安に思っていたのです。完璧さよりも、作品が訴えかけてくるものを伝えたいと思う私の演奏は、ミスがないとは言えないから。でも、杞憂でした。(中略)皆さんが私と一緒に作品の魅力を味わっていることが伝わ

てきたからです。噂とは違い、音楽を心で聴くことのできる方々なのだと思います。」

カスプロフさんは8月号の月刊「ショパン」の表紙も飾り、作品への取り組み方や今回のプログラムに関しても詳しくお話していらっしゃるインタビューが掲載されています。こちら是非ご覧ください♪



9月12日(火)ヴァハン・マルディオシアン ♪共演来日にあわせて実現した貴重&お得な公演! 滅多にない機会を聴き逃したくない!という方へ



9/9に福岡、9/10に広島、そして9/17に東京、とヴァイオリン前橋汀子さんとの共演ツアーで来日するマルディオシアンさん。

なんとも覚えにくいお名前の氏、イヴリー・ギトリスとの共演をはじめ、室内楽のピアニストとしてはもう10回以上来日されており、現在は主に指揮者として活躍。2年前には『N響ゴールデン・クラシックス』の指揮者にも大抜擢されました。熊のような風貌とは裏腹に、YouTubeで試聴することができるブラームスやヘンデルの演奏は非常に繊細。大きな体と丸っこい手から生み出される音は、激しさとは無縁の優しい音。また、作曲もこなすマルディオシアンさん。「作品の技巧的な側面にスポットを当てるのではなく、詩的・哲学的な面をあぶり出したい」と仰います。

多角的な解釈による古典～ロマン派までの名曲をお楽しみください。



珍しく、ランチタイムコンサートをご紹介します! 美味しいお食事と音楽が好きな方へオススメ♪

ランチタイムコンサート+昼食のセットプランはご存知でしょうか? コンサートだけだと一律¥1,000ですが、ご希望の方にはオプションで近隣のレストランでのお食事とコンサートのセットプランをご用意しております! 演奏会とお食事をあわせて¥2,100~。(値段はレストランによって異なります)今回ご紹介するのは、館内補修工事前、最後のランチタイムコンサートとなる催しです。



8月10日(木)11:30~の横山奈穂さん(ソプラノ)と重左恵里さん(ピアノ)の演奏会。横山さんはイタリア在住のソプラノ/歌手で、昨年初めて宗次ホールへご出演されたのですが、その歌声と華やかさ、そして彼女の真摯であたたかいお人柄が滲み出たお話に宗次代表も大変感銘を受け、宗次より直々に再来演のお願いをして叶った催しなのです! 演目は横山さんが得意なイタリアもの。夏休みですので、是非お友達と

お誘いあわせの上、お食事付のプランで楽しんでみませんか? 普通にお昼ごはんだけでも数千円するようなホテル内のレストラン等と提携しておりますので、演奏会とセットにするとかなりお得です! 値段やお店の空き状況など、詳しくは宗次ホールまでお電話でお気軽にお問い合わせください♪



売れている人気公演のご紹介! 完売してしまう前に お早目にご予約下さい!



まずは初来日・初登場ミッドナイト・サクソフォン四重奏団
8月7日(月)13:30~
¥2,000。イタリアからやってきた若くてカッコいい4人組です。サクソフォン奏者4名という編成自体が宗次ホールでは珍しいですが、世界的サクソ奏者・須川展也さんに指導を受けた本格派。(ちなみに、須川さん率いるトルヴェール・クワルテットも10月7日に公演を控えております!!)今回は音楽の教科書で習ったバッハ「小フーガト短調」からピアソラのタンゴまで全てサクソで魅せます!

そしてこの方のことはもう改めて説明するまでもないでしょう、石田泰尚さん(ヴァイオリン)8月9日(水)18:45~¥4,000。「やくざ風」の外見が個性的な「組長ヴァイオリニスト」。TV『嵐にしやがれ』にゲスト出演した時もその外見と奏でられる美しい音楽とのギャップでスタジオに衝撃を与えました! 是非宗次ホールに、とお客様から多くのご要望を頂き、今回ついに実現。どうぞお聴き逃しなく!



そして平田耕治さん(バンドネオン)9月5日(火)13:30~¥2,000。いつも人気の平田さんのタンゴ公演。ピアソラ「タンゴの歴史」やモリコーネ「ニューシネマパラダイス」等、いつもの宗次ホールとは少し趣の異なるプログラム! 今回はスペインの名ギタリスト、サルディーバルさんも加わって、バリオス「大聖堂」など、ギターファンの皆様にも喜んで頂けること間違いなしです♪ご予約はどうぞ、お早目に!



チケットのご予約・お問い合わせは
宗次ホールチケットセンターへ
☎ 052-265-1718(10時~18時)
8月12日(土)~24日(木)までは
館内補修工事のため、休館いたします。